

# ふくおかのふくし 152号

Jul.2015

*Welfare of Fukuoka*



社会福祉法人悲田院 早良厚生園 職員 木崎 優衣さん

## 今号の内容

- 特集 現場で聞く！福祉人材不足の解消に向けて p 1
- 地域ボランティア活動支援のための助成を行います p 3
- じぶんの町を良くする赤い羽根共同募金 活動紹介 p 4
- 生活支援・介護予防の体制整備に向けた研修会 報告 p 5
- 共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業 p 6
- 社会福祉施設 種別協議会紹介 p 7
- ふくふくInfo p 9



じぶんの町を良くするしくみ

**赤い羽根共同募金**

この広報誌は、一部共同募金の  
配分金を受けて発行しています。

# 人材確保のカギは、

## 全職員が採用活動にどう関わるか!

厚生労働省が平成27年2月にとりまとめた報告書によると、少子高齢化が進む中、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、約30万人の介護人材が不足すると推計されています。また、保育分野においては、保育の需要がピークとなる平成29年までに待機児童を解消するため、40万人の受け皿整備と併せて保育士の確保が必要といわれています。福祉人材の確保に向け、多様な福祉人材の参入を図ることや、各社会福祉施設・事業所において働きやすい職場環境を整備することが重要とされている中、こうした福祉人材の質・量の両面で計画的な採用および継続的な職員育成のサイクルが各福祉現場に求められています。

今回の特集では、人材確保の方策について、本会が開催した「福祉のしごと就職フェア（以下、「就職フェア」）」での事例を基に紹介します。

社会福祉法人悲田院  
障がい者支援施設 早良厚生園

「人材確保の状況が厳しくなる中、早良厚生園の職員採用の基本的な考え方を教えてください。」

数年前までは、筆記試験の結果で採否を決定していましたが、現場の職員と一緒に働きたいと思える人を採用したいと考え、現在では、就職フェアの面談担当者から見た評価や、見学に来られた際の雰囲気なども参考にするようになりました。

そのきっかけは、就職フェア参加法人向け事前セミナー（県社協主催）でした。そこで自施設の魅力（特長・らしさ）について改めて考え、今後どのようにしていきたいかという全職員共通の認識を持つ重要性を学びました。

以前は、職員採用だけの目的で就職フェアに参加していましたが、今では、採用に向けたあらゆる活動が職員を成長させるチャンスと捉えています。また職員の職場に対する思い、要望、理想を共有できる機会にもなっています。

職員採用のための  
分かりやすいチラシ  
も作成しています



そのため、就職フェアへの参加にあたっては、全員が「自分たちの仲間を探すんだ!」という気持ちで臨んでいます。

「早良厚生園では、就職フェアに向けてどのような準備を行っていますか。」

私たちの施設では、就職フェアに向けて、毎回担当者（一般職員）を7〜8名選出しています。このチームが中心になって、必要とする人材のイメージ（採用対象者の年齢、経歴、人数等）





を設定したり、面談者数の目標設定、ブースのテーマなどを話し合います。全体の方向性が決まったら、管理職を含めた会議で内容をより深めていきます。このような会議を毎週1回は行いながら、準備を進めます。

また、当日のイメージを具体化するため、施設内に就職フェアの仮ブースを作り、担当以外の職員を求職者役としてロールプレイを繰り返します。

これらのことを通じて、質の高い採用活動を実現しています。

**「確かに早良厚生園のブースは毎回求職者でいっぱいです。就職フェアの振り返りや面談者へのフォロー等はど**

まず、就職フェア終了後に職員全員で反省会を行います。来場者や面談した方の状況の分析、自法人の面談の仕方やブースづくりを振り返るとともに、他法人の方法なども参考にしながら、次回の就職フェアにつながるような意見を出し合います。

また面談者には見学会を実施しています。就職フェア当日のブース担当職員が案内役を担うことで、安心感につながっています。

**「就活者に伝えたい福祉のしごととは？」**

まず言いたいのは、福祉の仕事は楽しい仕事だということ。辛いことや大変なことはありますが、それはどんな仕事にもあることです。この仕事は、今までできなかったことを支援し、それができるようになった瞬間を体感できることが一番の醍醐味です。利用されている方一人ひとりの可能性を発見して、共に成長できる仕事は他にありません。

また、職員がきちんと生活できるような保障や体制もしっかりと整備されている業界です。まずは1歩踏み出してみませんか。



栢田 充生 施設長

就職フェアをきっかけに早良厚生園に就職した木崎 優衣 さんにもお話を伺いました！

#### 【就職先の決め手は第一印象が大事】

就職フェアでは、多くの施設・事業所の方から声を掛けられましたが、悲田院のブースがひと際明るく目を引いたことや私と年齢の近い職員の方が笑顔で迎えてくれたことで、とても良い第一印象を持ちました。

後日、施設見学会に参加したところ、施設の職員や利用者みなさんが笑顔で迎えてくれたことが何より印象的でした。

#### 【現在の仕事】

4月に就職し、6月から3名の利用者の担当になりました。食事や入浴介助、外出支援などの業務を通じてコミュニケーションを取りながら、少しずつ心の距離を縮めています。分からない事や困った事が起きたときに、先輩の支援員からサポートを受ける体制が整っているのが安心して働いています。

今後は、支援員として利用者の気持ちを汲み取りながら、一人ひとりの良い所を伸ばしていければと思っています。

#### 【福祉の仕事を目指す方へ】

実際に、高齢者や障害者の方たちと触れ合う機会を持つことで、高齢・障害・児童のどの分野が自分に合うかをイメージできると思います。迷っている方はぜひ就職フェアに参加してみてください。そこで気になった施設・事業所の見学会に行ってみるのもおすすめです。



木崎 優衣さん

#### 就職フェアでの採用活動の9のポイント

- ① 複数の職員で担当する。担当を固定しない。
- ② 採用する対象者像を事前に設定しておく。誰でもよい、では誰も来ない。
- ③ 自施設の魅力（特長・らしさ）を前面に出す。当たり前と思っていたことが、実は珍しい取り組みだったりすること。
- ④ 対象者に合わせたパンフレットやチラシを作成する。施設の利用者向けパンフレットと求職者向けパンフレットは違う。
- ⑤ 設定した採用対象者像と同年代の職員がブースで面談をする。求職者が席に着きやすく話しやすい。
- ⑥ 面談時は、求職者が聞きたいことを話しの中心とする。自己紹介や施設概要紹介は簡潔に。
- ⑦ 手渡す資料は後日見てもらうものとする。資料に沿って話すのではなく、言葉で伝えるべき情報を提供する。
- ⑧ 面談会が終了したら、面談者へのフォローを必ず行う。電話や手紙でお礼や見学会の案内など。
- ⑨ 施設内で反省会を行う。

# 第15回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭

入場無料

スポーツ、文化活動を通じた高齢者の生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりを支援するとともに、世代を超えた交流を深め、社会参加を促進し、「はつらつとした高齢社会」を築くことを目的として毎年開催する「福岡県ねんりんスポーツ・文化祭」。今年度は、筑豊地域を中心に開催し、メインイベントでは子どもから大人まで楽しめる多彩な催しを行います。多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

【メインイベント】 日時 **11月7日**（土）10時から16時まで  
会場 **ユメニティのおがた**  
（直方市山部 364-4）



【記念講演】 **ピーター氏**（歌手・俳優） ※トークショー

【イベント】 ●シニアの方の歌声を楽しめる「合唱フェスティバル」

●地元のグルメや障害者の「まごころ製品」等が盛り沢山の「ふれあい市場」

●昔ながらの遊びや文化を楽しもう！「地域文化伝承コーナー」など

【その他】 **各スポーツ交流大会等の日程等は本会ホームページをご覧ください。**

【問い合わせ先】 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局  
（福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 共生社会推進課）  
☎092-584-3377（代表）



## 地域ボランティア活動支援のための助成を行います！

福岡県地域福祉財団が、福岡県の行政改革により解散（平成27年3月）されたことに伴い、本年度から本会が標記事業を引き継ぐこととなりました。

そこで本会では、**地域でボランティア活動を積極的に推進している団体等**に対し、「**地域ボランティア活動支援のための助成事業**」を下記のとおり実施します。

なお、詳細は近日中にホームページ等でお知らせします。

### < 概要 >

|       |                                                                                                                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象団体  | 子どもの健全育成、高齢者・障害者等のための福祉活動、環境保全やまちづくり活動等、住民の主体的参加に基づく福祉コミュニティづくりに寄与するボランティア活動を行っている団体等                                                                                     |
| 助成額   | 1団体 総額30万円以内 ※決定後一括交付                                                                                                                                                     |
| 助成期間  | 決定年度を含め3年<br>※助成期間中、助成額をすべて活用した場合でも、3年は決定事業の事業報告が必要です。                                                                                                                    |
| 申請手続き | 申請を希望する団体等は、 <b>申請事業を所管する市町村担当部署、市町村教育委員会 社会教育担当部署 又は市区町村社会福祉協議会のいずれかの推薦</b> が必要です。<br>※NPO法人について、該当機関の推薦が難しい場合は、県または政令市の設立認証書の添付をもって該当機関の推薦にかえることができます。その際は、直接本会へ提出ください。 |
| 募集期間  | 平成27年7月31日（金）～平成27年8月28日（金）                                                                                                                                               |
| その他   | 詳細は、実施要綱をご覧ください。<br>ホームページアドレス <b><a href="http://www.fsw.or.jp/">http://www.fsw.or.jp/</a></b>                                                                           |

【問い合わせ先】 地域福祉部 共生社会推進課 ☎092-584-3377（代表）

# ひとり暮らし・寝たきり高齢者の 孤独を癒す活動を支援！

共同募金を活用して住民の福祉向上に取り組む団体をご紹介します。

上毛町のあすなる会（以下「会」という）は、一人暮らし・寝たきりの高齢者を励ますボランティア組織として、当時の民生委員が中心となり昭和60年に発足。現在39名の会員で活動しており、地域の福祉施設や小学校の協力をいただきながら、様々な活動を行っています。

東一成会長は、「会の運営は、会費と共同募金の配分金とその他、活動に賛同いただいた方からの寄付等で行っています。財政状況は毎年とても厳しいので、共同募金の配分金が無かったら、会の存続が難しくなります。私たちは、会の発足以来30年間、一人暮らしの高齢者や寝

たきりの方々が少しでも孤独感などが癒され、生きる希望、生きる幸せを持ってもらうことができればという願いを込め『文集あすなる』を発行・配布（年3回、1回あたり580部）しています。この文集は、各地区の民生委員等の協力を得て、一人暮らしや寝たきりの高齢者、関係団体等に届けられます。読者の高齢者の皆さんからは『配布をいつも楽しみにしています』という声も聞かれます。このような文集が発行できるのも共同募金のおかげです。」と話されます。



文集製本作業の様子

会では、他にも次のような福祉活動に取り組んでいます。

- 地域の特別養護老人ホームやデイサービスセンターを訪問して行うふれあい活動
- 地域の小学4年生と知的障害施設との交流を行うみかん狩り
- 地域の小学生に年賀状作成をお願いし、70歳以上の一人暮らし高齢者に年賀状を送る活動
- 会員の環境美化の意識づけを図るための空き缶拾い等の環境美化活動（年1回）
- 地域の小学校からの要請による「昔の遊び」を伝える活動等



地域の福祉施設への訪問ふれあい活動の様子

このように、共同募金は多くの人々がふれあう様々な福祉活動に役立てられています。

【問い合わせ先】  
福岡県共同募金会  
☎092-584-3388



右から 会長 東一成氏  
副会長 太田成子氏  
文集活動部長 今田孝行氏

## 「文集あすなる」の作成に ご協力ください！

今後、さらにより良い文集にしていくなため、読者の皆様からの感想や提言、寄稿をお待ちしています。

ボランティアあすなる会  
☎ 0979-24-9275



# 目指すはつながりとふれあいのある地域！

47市町村185名が参加

『生活支援・介護予防の体制整備に向けた研修会』～目指す地域像の実現に向けた、第1層協議体のあり方を考える～ 報告

介護保険制度の改正に伴い、市町村では新地域支援事業における協議体の編成並びに生活支援コーディネーターを配置することとなりました。これに対し、地域における課題の把握と課題解決に向けた助け合い活動の創出、さらにネットワークの構築に向けた市町村の取り組みが、早急かつ円滑に実施される必要があります。

このような中、去る6月11日、電気ビル本館（福岡市）において、福岡県、公益社団法人さわやか福祉財団並びに本会の共催により「生活支援・介護予防の体制整備に向けた研修会」を開催しました。

この研修は、県内の市町村、地域包括支援センター、社会福祉協議会の職員や第1層協議体の構成員候補者（地縁組織代表者、NPO代表者等）を対象に、目指す地域像の実現に向けた具体的な活動を想定しながら、最終的な協議体のあり方について、市町村の方針と計画の策定方法などを習得することを目的に開催しました。

以下、講演の概要を掲載します。

## 地域包括ケアシステム構築に向けて

厚生労働省老健局振興課  
課長補佐 服部 真治 氏

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指しています。

今後は単身世帯等が増加し、軽度な支援を必要とする高齢者が多くなる中、生活支援の必要性が増加していきます。一方で人口減少社会となり、それを支える担い手が不足していく現状があります。

そこで、生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組みが各市町村に求められています。

## （1）生活支援コーディネーター

（地域支え合い推進員）の配置

多様な主体による地域資源の開発やそのネットワーク構築等を行う。エリアは第1層の市町村区域、第2層の日常生活圏域（中学校区等）があり、平成29年までに第2層の充実を目指す。

## （2）協議体の設置

NPO・民間企業・協同組合・ボランティア・社会福祉法人等の多様な関係主体間の情報提供、連携・協働による取り組みを推進する。

## 市町村が目指すべき地域像

公益社団法人さわやか福祉財団

会長 堀田 力 氏

目指す地域像は、「地域の住民が安心して心豊かに暮らせる社会」です。それは、地域住民がどんな状態になっても、ふれあいの絆の中で自らの能力を最大限に活かしながら、生きがいをもって主体的に暮らし、尊厳が保持されている、つながり・ふれあいのある地域です。

そうした地域であるためには、誰でもいつでも気軽に集まる場所があり、日常的な助け合いが行われていることや、地縁組織が幅広く随時対応の助け合いを行っていることが基本的要素となります。また、NPO等がテーマの助け合いを行っていること等も必要になります。

地域支援コーディネーター、協議体の設置等、新たに生み出すものには大変な苦労があると思いますが、挑戦しがいのある取り組みだと感じています。

また、講演後のグループ討議では、目指す地域像について、今どのような課題があるのか、協議体構成メンバーを誰にするか等、活発に議論が行われました。

本会は、各地域で住民の誰もが安心して心豊かに暮らせる地域社会を実現する活動を推進します。



# 「災害ボランティアセンター」設置運営訓練に大学生ら70名参加!!

去る5月31日(日)、風水害及び地震・津波災害等を想定した「福岡県・福岡市合同総合防災訓練」が福岡県警察訓練跡地を主会場に福岡市内4か所で行われ、福岡県、福岡市及び消防、警察、自衛隊、地域住民など約1,350人が参加しました。

この訓練の中で、福岡市及び福岡市社会福祉協議会が中心となり、本会も協働して西南学院大学(福岡市早良区)で、「災害ボランティアセンター」設置運営訓練を行いました。

今回は、浸水被害の特に大きい地域にサテライト型の「災害ボランティアセンター」を設置運営するとの想定で訓練を実施しました。広域被害のため、NPOや大学生が中心となって運営スタッフに参画する「協働型災害ボランティアセンター」の設置運営訓練を実施しました。

今回は大学生、NPO団体、地域住民等約70名が参加。参加者からは「初めて参加し、どのようにしたらいいのかわからなかったが、実際に災害が起きたら、このような活動が行われていることがわかってよかった。」「何度か現地ボランティアに参加しているが、日頃から訓練をやっておかないといざという時対応できない。定期的に参加しなければ。」等様々な感想が聞かれました。

福岡県では、大学生の災害ボランティアを養成し、東日本大震災被災地や、広島市土砂災害被災地に大学生を派遣しており、今後も継続して取り組んでいくこととしています。



ボランティア受付の様子



活動オリエンテーションの様子



マッチングの様子

## 平成27年度共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業 モデル実施社協決定!!

本会では、2つのテーマを設け、「共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業」を実施しています。平成26年度・27年度を指定期間として、学校・地域・企業・NPO等と連携した福祉教育プログラムを開発し、福祉教育推進のための基盤整備を図ることを目的とした「福祉教育」モデル指定を2社協に行いました。

また、今年度新たに「社会福祉法人が連携した社会貢献活動」というテーマで募集を行い下記4社協に対し、平成27・28年度のモデル指定を決定しました。社会福祉法人の在り方が問われ、社会福祉法人に対して社会貢献活動の実施が義務づけられるという大きな流れの中で、同一市町村内の社会福祉法人が、連絡協議会等の組織化等により、各法人間の連携を進め、社会貢献活動の構築を図ることを目的としたものです。

### 【平成26・27年度テーマ「福祉教育」】

|             |               |
|-------------|---------------|
| 苅田町社会福祉協議会  | 共に学ぶ福祉教育の推進   |
| 大野城市社会福祉協議会 | 学校における福祉教育の充実 |

### 【平成27・28年度テーマ「社会福祉法人が連携した社会貢献活動」】

|             |                                                                   |
|-------------|-------------------------------------------------------------------|
| 大牟田市社会福祉協議会 | 社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動の展開                                          |
| うきは市社会福祉協議会 | うきは市社会福祉法人連絡協議会での地域公益活動の研究と試行                                     |
| 嘉麻市社会福祉協議会  | 地域の課題解決に向けた協力体制の強化                                                |
| 上毛町社会福祉協議会  | “オールこうげ”<br>ひとつの社会福祉法人ではできなくても、それぞれの種別の特性や強みを活かし協働で生まれる力は、大きな一歩に。 |

【問い合わせ先】 地域福祉部 地域課 ☎092-584-3377 (代表)



## 福岡県乳児院協議会

乳児院は、家族の病気等、様々な理由から家庭で子どもが育てられない状況が生じた時に、児童相談所を通じて子どもを一時的または中・長期にお預かりし、家庭に代わって見守り育てるところです。また、緊急での一時保護の受け入れ等、24時間365日体制で養育を行います。全国には134の乳児院があります。現在、福岡県内には6施設あり、0歳から就学前までの約170人の子どもたちが生活しています。

近年は、ネグレクトを含む虐待や何らかの疾病・障害を抱える子どもたちが多くなりました。医学的・療育的な関わりも行いながら、家庭との療育の協働を心がけています。また、里親家庭とのパートナーシップを重視し、子どもの療育の社会化を進めています。

福岡県乳児院協議会では、子どものいのちを守り育てるために、行政をはじめ関係機関と連携した様々な検討を進めるとともに、県内乳児院と連携し、療育の質や施設機能の向上を目指して、各種研修会を通じてスキルアップに取り組んでいます。

これからも、乳児院の子育て機能の専門性を活かし、子ども・家族に寄り添いながら、地域の子育て支援の社会資源として「社会的養護を必要とする赤ちゃんのセーフティネット」として活動していきます。



レシビ集を作るなど職員の資質向上も図っています



手打ちうどん作りでは、ビニール袋に入れた生地を子どもが一生懸命フミフミ

## 福岡県里親会

福岡県里親会（通称クローバー会）は、昭和44年9月に発足し、間もなく46年を迎えようとしています。当時、福岡県では、107家庭が里親登録をしており、そのうち3割にあたる家庭に38人の子どもたちが委託されておりました。現在、福岡県（政令市の福岡市、北九州市を除く）では、182家庭が里親登録をしており、その半数の家庭で、132人の子どもたちが生活しています。

クローバー会では、県内の管轄児童相談所ごとに5つの地区（福岡、宗像、田川・京築、久留米、大牟田）に分かれ、それぞれが独自にサロン活動や、地域啓蒙活動を行い、親睦を図っています。また、各地区の里親が一同に集う研修会を年2回開催するとともに、夏休み等には里子の子どもたちを中心とした野外活動も行なっています。全国里親大会、九州地区里親研修大会等もあります。来年度は、「第3回西日本里母のつどい in 福岡」を当会の里母が中心となって、クローバープラザでの開催を予定しており、西日本の各県より里母がつどい、日ごろの里子養育について、大いに語り合う計画を立てています。



里親と里子の絆を深めるイベントを積極的に行っています

近年の児童虐待の増加に伴い、里親家庭に委託される子どもたちにも、発達障害、知的障害を抱える子ども、あるいは、非行歴のある子どもが委託されるようになって参りました。社会的養護を必要とする子どもたちの安心・安全な暮らしが保証されますように、一人でも多くの子どもたちが家庭の中で育つことができますように、多くの皆様方に私たち里親の仲間になっていただきたいと切に願っています。

里子たちは、地域の里親家庭でゆくりと生活しております。どうぞ里子たちのために、地域の皆さま、様々な団体さまのご支援を心よりお願いいたします。

### 福岡県母子生活支援施設協議会より ～前号の補足～

本紙151号(5月20日発行)8頁の本会が寄稿した本会紹介記事について、次のとおり補足します。

施設種類の法律上の名称は「母子生活支援施設」に変更されていますが、各施設においては以前の法律上の名称である「母子寮」という言葉を使用しているところもあります。こうした施設名称の使用にかかわらず、母子生活支援施設では母子がやすらぎの場と時間を持てるように寄り添う支援に努めています。

【各種別協議会 事務局】 施設福祉部 施設課内 （春日市原町 3-1-7 クローバープラザ西棟 6 階）  
TEL 092-584-3377(代表) FAX 092-584-3369-3381



平成27年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

## 補償金額 (保険金額)

| 保険金の種類  |                      | プラン    | Aプラン                              | Bプラン             |
|---------|----------------------|--------|-----------------------------------|------------------|
| ケガの補償   | 死亡保険金                |        | 1,200万円                           | 1,800万円          |
|         | 後遺障害保険金              |        | 1,200万円<br>(限度額)                  | 1,800万円<br>(限度額) |
|         | 入院保険金日額              |        | 6,500円                            | 10,000円          |
|         | 手術<br>保険金            | 入院中の手術 | 65,000円                           | 100,000円         |
|         |                      | 外来の手術  | 32,500円                           | 50,000円          |
|         | 通院保険金日額              |        | 4,000円                            | 6,000円           |
|         | 特定感染症の補償             |        | 上記後遺障害、入院、通院の<br>各補償金額 (保険金額) に同じ |                  |
| 賠償責任の補償 | 葬祭費用保険金<br>(特定感染症)   |        | 300万円(限度額)                        |                  |
|         | 賠償責任保険金<br>(対人・対物共通) |        | 5億円(限度額)                          | 5億円(限度額)         |

## 年間保険料

| タイプ      | プラン | Aプラン | Bプラン |
|----------|-----|------|------|
| 基本タイプ    |     | 300円 | 450円 |
| 天災タイプ(※) |     | 430円 | 650円 |

(※)天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

●後遺障害も  
フルカバーなので  
安心です!!

## 保険金をお支払いする主な場合

- ・清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- ・活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなった。(ケガの補償)
- ・活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- ・家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- ・自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

# ボランティア行事用保険

(普通傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や  
ボランティア活動の  
さまざまな行事における  
ケガ、賠償(主催者責任)  
を補償!!

## 補償金額 (保険金額)

Aプラン・Bプランとも(Aプランは熱中症補償付)

| 保険金の種類  |           | 補償内容             |
|---------|-----------|------------------|
| ケガの補償   | 死亡保険金     | 400万円            |
|         | 後遺障害保険金   | 400万円(限度額)       |
|         | 入院保険金日額   | 3,500円           |
|         | 手術<br>保険金 | 入院中の手術 35,000円   |
|         |           | 外来の手術 17,500円    |
|         | 通院保険金日額   | 2,200円           |
| 賠償責任の補償 | 対人事故      | 1名・1事故 2億円(限度額)  |
|         | 対物事故      | 1事故 1,000万円(限度額) |

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

## 保険料 (1名あたり)

※A1、A2、A3(新設)の行事の内容は、パンフレットをご覧ください。

| A プラン<br>(宿泊を伴わない行事)                   |                                           |                                           |      |
|----------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|------|
| A1の行事                                  | A2の行事                                     | A3(新設)の行事                                 |      |
| 1日 28円<br>(最低保険料 560円)<br>(最低加入人数 20名) | 1日 126円<br>(最低保険料 2,520円)<br>(最低加入人数 20名) | 1日 248円<br>(最低保険料 4,960円)<br>(最低加入人数 20名) |      |
| B プラン<br>(宿泊を伴う行事)                     |                                           |                                           |      |
| 1泊2日(2日間)                              | 239円                                      | 4泊5日(5日間)                                 | 352円 |
| 2泊3日(3日間)                              | 293円                                      | 5泊6日(6日間)                                 | 357円 |
| 3泊4日(4日間)                              | 298円                                      | 6泊7日(7日間)                                 | 362円 |

※Aプランにおける区分は、開催する行事の内容によって異なります。別途お問い合わせください。  
※Bプランの行事で上記以外の日程につきましては、別途お問い合わせください。

## 送迎サービス補償

(普通傷害保険)

- ◆送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

## 福祉サービス総合補償

(普通傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険)

- ◆ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人  
全国社会福祉協議会**  
(引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
TEL:03(3593)6824

取扱い代理店 **株式会社 福祉保険サービス**  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK14-16220 (2015.2.6))



## ゴールドマン・サックス証券株式会社様から児童福祉施設への野球観戦チケットをご寄贈いただきました！

ゴールドマン・サックス証券株式会社様は、平成 18 年度から毎年、県内の児童福祉施設に対して、福岡ヤフオク！ドームでの野球観戦チケットを寄贈いただいています。

平成 26 年度からは、福岡ヤフオク！ドームのスーパーボックスにご招待いただいております。減多にできない経験を子どもたちも大変楽しみにしています。

児童福祉施設では、子どもたちの健全な育成のため、日々の活動で野球に取り組んでおり、このような貴重な機会は未来ある子どもたちの成長にとって大変有意義な経験となります。

素晴らしい機会を与えていただきましたゴールドマン・サックス証券株式会社様、ありがとうございます！

## 福岡県遊技業協同組合様から児童養護施設協議会へ寄付

県内の児童養護施設の小中学生を対象とした『こども絵画コンクール』の開催やその参加児童を遊園地に招待するなど、日頃から子どもたちのために幅広く社会貢献活動を展開されている福岡県遊技業協同組合（以下、県遊協）様から福岡県児童養護施設協議会（以下、県養協）に対し寄付金を贈呈いただきました。



5 回目となる今年度は、平成 27 年 5 月 28 日（木）にグランド ハイアット 福岡（福岡市）で贈呈式が執り行われ、県遊協 金本 正浩 理事長（写真右）から県養協 松崎 副会長（福岡子供の家 施設長、写真左）に寄付金の手渡されました。

県養協にいただいた寄付金は、児童の健全育成および施設間の親睦を目的とした野球・バレーボール交流大会の運営や日々児童と向き合っている職員の資質向上に向けた研修会に活用させていただきます。

## 老人ホーム紹介事業の寄付つき商品が誕生！ ～相談 1 件につき 65 円を寄付～

福岡県共同募金会では、平成 24 年度から企業等と連携した寄付つき商品の企画（募金百貨店プロジェクト）を行っています。この度、株式会社エン・コネット様から、寄付を通じて福岡県の福祉課題解決につなげてほしいという思いでご協力いただき、『住まい 65×赤い羽根プロジェクト』が誕生しました。

この寄付つき商品は、同社が運営する老人ホーム紹介センター「住まい 65」への相談 1 件につき 65 円を本会へ寄付いただきます。「住まい 65」では、老人ホーム等に入居を希望する方への相談・施設見学・紹介をすべて無料で行っています。そのため、相談者は気軽に相談ができ、安心して自分の希望に沿った住まいを見つけることができます。

同社代表取締役の江里口 曜平氏は、「この紹介センターを通して老人ホーム等を選ぶ仕組みができることを目標とし、それが福岡県全体の福祉向上につながることを期待しています。」と意気込みを語られました。



【問い合わせ先】 福岡県共同募金会 ☎092-584-3388

（左）江里口 曜平 エン・コネット代表取締役  
（右）添島 浩 県共同募金会 常務理事

## ふくしの職場で働きませんか？就職面談会を各地区で開催！

福祉関係事業所と求職者の面談会を設け、福祉の仕事への理解を促す機会、福祉の仕事を希望する人に対して社会福祉施設等への就職する機会を設けることを目的に下記日程で開催します。

| 地区名  | 開催日                  | 会場                  |
|------|----------------------|---------------------|
| 北九州市 | 平成 27 年 9 月 2 日（水）   | ウェルとばた（戸畑区）         |
| 筑後地区 | 平成 27 年 9 月 12 日（土）  | ホテルニュープラザ久留米（久留米市）  |
| 京築地区 | 平成 27 年 10 月 25 日（日） | ウィズゆくはし（行橋市）        |
| 筑豊地区 | 平成 27 年 11 月 1 日（日）  | サン・アビリティーズいいづか（飯塚市） |

【問い合わせ先】 県民サービス部 人材・情報課（福岡県福祉人材センター） ☎092-584-3310



## 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」を実施します！

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程とは、福祉人材確保指針（厚労省告示）で示された「福祉・介護サービス分野におけるキャリアパスに対応した生涯を通じた研修体系」の構築を目指すため、全国社会福祉協議会中央福祉学院が平成10年から推進していた「福祉職員生涯研修課程」の実績と課題を踏まえて新たに開発された研修課程で、全国的な普及を推進しています。そこで、本会研修課では、下記研修会を開催します。

### 【本研修課程の特徴】

- ① 福祉・介護職員のキャリアパスに応じた資質向上を段階的・体系的に図っています。
- ② あらゆる事業種別・職種を横断した福祉・介護職員全般を対象としています。
- ③ 研修内容の標準化を図り、全国共通の基礎的研修となっています。



### 管理職研修

#### 開催日

A日程：8月27日（木）・28日（金）  
B日程：9月8日（火）・9日（水）

#### 会場

A日程：クローバープラザ 東棟5階 506研修室  
B日程：クローバープラザ 西棟5階 セミナールームA B

#### 対象

福岡県内の社会福祉法人において、近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員、現に管理者に就いている職員

※2日間連続の受講、事前課題の提出（必須）が可能な方に限ります。

講師：日本女子大学人間社会学部 教授 久田 則夫 氏  
（福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程テキスト編集委員会委員）

（主な内容）・キャリアデザインとセルフマネジメント  
・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップ  
・利用者本位サービス実現と権利侵害防止  
・管理職としての能力開発 ・組織運営管理  
・チームアプローチと多職種連携・地域協働

### チームリーダー研修

#### 開催日

A日程：10月29日（木）・30日（金）  
B日程：11月12日（木）・13日（金）

#### 会場

A日程：クローバープラザ 西棟5階 セミナールームA B  
B日程：クローバープラザ 西棟5階 セミナールームA B

#### 対象

福岡県内の社会福祉法人において、近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員、現に主任・係長等に就いている職員

※2日間連続の受講、事前課題の提出（必須）が可能な方に限ります。

講師：久留米大学 文学部 准教授 片岡 靖子 氏  
（福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者）

（主な内容）・キャリアデザインとセルフマネジメント  
・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップ  
・チームリーダーとしての能力開発 ・組織運営管理  
・チームアプローチと多職種連携・地域協働

詳しい日程・内容、お申込み等については、  
研修課のホームページ（<http://www.fsw.or.jp/kenshu/>）をご覧ください。

【問い合わせ先】県民サービス部 研修課 （〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ 4階）  
TEL 092-584-3351 FAX 092-584-3354

## あなたの家にも二セ電話！ 県内だけで被害額 10 億円超！

身内（子や孫）、会社員、警察官、市役所職員などいろいろな立場になりました二セ者（犯人）が、電話を悪用して行う詐欺のことを福岡県警察では「二セ電話詐欺」と呼んでいます。

平成27年5月末の福岡県における二セ電話詐欺（振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺）の認知件数は206件で、前年の同月と比べ115件増加し、被害額は10億2,502万円で、前年の同月と比べ5億5,591万円増加しています。特に被害者の過半数が65歳以上の高齢者となっています。

このような中、福岡県警察では、「二セ電話気づかせ隊推進委員会」を組織し、本会もその一員となっています。気づかせ隊は、金融機関をはじめ、高齢者に関わる各関係機関・団体に加入を働き掛け、被害の未然防止に協力してもらう取り組みです。隊員が50万円超の被害を防いだ際に感謝状や御礼品の贈呈も用意。隊員登録については、県警ホームページの申込みフォームや最寄の警察署でも可能です。

「電話でお金のは、全て詐欺！」多くの高齢者の生活を脅かす詐欺行為を抑えるため、積極的な御協力をお願いします！

福岡県警察本部 生活安全部 生活安全総務課 安全安心まちづくり推進室 ☎092-641-4141

福岡県警察ホームページ <http://www.police.pref.fukuoka.jp/index.html>



# 福祉のしごと就職フェア 2015 in FUKUOKA

## H27 8月21日 金 会場 クローバープラザ

参加対象

社会福祉施設等への就職希望者及び平成28年3月末の大学・専門学校等の卒業予定者（高校生は除く）、無資格・未経験の方も可

参加無料

入退場自由

予約不要

### 就活応援セミナー

11:30～12:30  
(受付11:00～)

**テーマ** 「自分に合う職場の見つけ方」  
就職面談会に向け、就職活動に必要な自己理解、企業理解、自己分析の方法などをお話しいたします。  
**講師** 有限会社エステートソフト 代表取締役 (キャリア救済センター福岡代表) 高野 一郎 氏  
**定員** 先着250名 (予約不要)

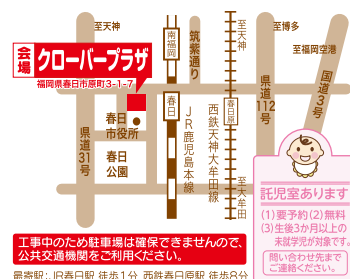
### 就職面談会

13:00～16:00  
(受付11:00～)

施設・事業所の採用担当者や職員と直接面談し、仕事内容、職場の雰囲気、待遇など様々な質問にお答えします。

参加事業所数 福祉関係施設・事業所 165ブース参加予定

### 会場アクセス



**託児室あります**  
(1)要予約 (2)無料  
(3)生後3か月以上の未就学児が対象です。  
問い合わせ先までご連絡ください。

工事中のため駐車場は確保できませんので、公共交通機関をご利用ください。  
最寄駅：JR春日駅 徒歩1分、西鉄春日原駅 徒歩8分

問い合わせ先

福祉分野への就職・相談は福岡県福祉人材センターへ

社会福祉法人 **福岡県社会福祉協議会** (福岡県福祉人材センター)

〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ2階  
TEL 092-584-3310(直通) FAX 092-584-3319

詳しくはこちら [福岡県福祉人材センター](#) 検索



主催 / 福岡県、福岡県社会福祉協議会

共催 / 福岡労働局、福岡中央公共職業安定所、久留米市・飯塚市・行橋市・北九州市社会福祉協議会各福祉人材バンク、全国社会福祉協議会中央福祉人材センター